

「子どもセンターてんぽ」とは？

10代後半の子ども達の自立を支援することを目的に設立されたNPO法人です。

児童虐待などが理由で安心して生活できる場所がない子どものための緊急避難施設であるシェルター(定員6名)と、何らかの理由により家庭で生活できなくなり働かざるを得なくなった子どもたちが共同生活を通して自立のための準備をする自立援助ホーム「みずきの家」(定員女子6名)を運営しています。

私たちは、子どもたちに安全・安心・清潔な住まいとおいしい食事を提供し、利用する子どもの人権を守り、ひとりひとりの自立に向けたペースを尊重し、いつも真剣に、ねばり強く、寄り添います。

利用する子どもが望むとき(退所後も)、けっしてその子どもをひとりにはしません。

てんぽでは
ボランティアを
募集しています



ホームページURL
<http://www.tempo-kanagawa.org/>

子どもの話をきくことの重要性については、これまでも繰り返し強調されてきました。子どもの話をよくきくようにしているという大人も多いと思います。

しかし、果たして、子どもは、自分の話を大人に分かってもらった、共感を持ってきいてもらえたと考えているのでしょうか。子どもの話に耳を傾け、子どもの訴えを正確に受け取るのは、私たちが考えている以上に難しいことなのかもしれません。

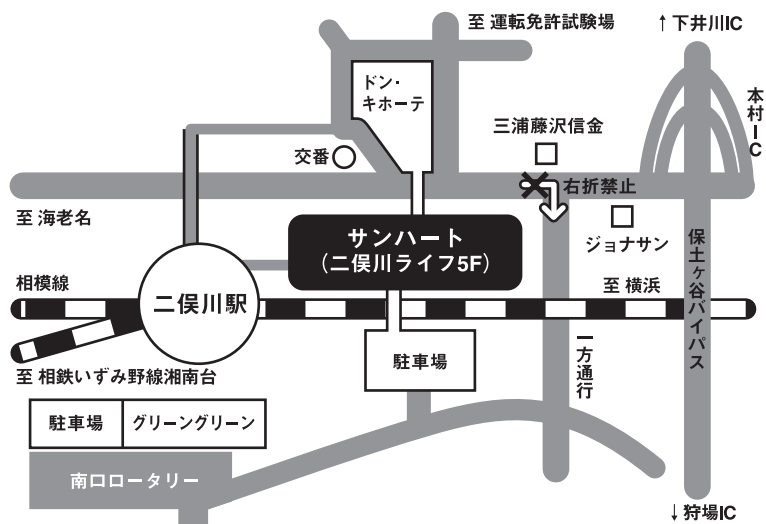
本シンポジウムでは、実際に子どもから話をきくことを専門の職業とされている方をお招きした上で、その具体的手法を紹介し、それぞれの立場からのディスカッションを行うことで、あらためて「子どもの話をきく」ということの意義を共有し、その重要性を再確認したいと思います。

会場案内

旭区民文化センター サンハート

〒241-0821
横浜市旭区二俣川1-3
二俣川ライフ5F

※サンハートの駐車場はございません。
近隣の有料駐車場をご利用ください。



◆電車でお越しの方へ

相鉄線二俣川駅改札を出て右(北口)に出ます。連絡通路を右へ30メートルほど進み、花屋の前にあるエレベーターをご利用ください。二俣川ライフ5Fになります。